

(3)

私の家では、小学1年生と4年生の子どものために「子ども新聞」を取っている。この新聞はABC新聞社が発行していて、日本や世界で起こったニュースを小学生向けにわかりやすく説明している。ニュースだけでなく、そのとき話題になっているもののことを書いた特集や、受験に役立つ学習記事もある。英語の学習コーナーのクイズは、下の子どもが大好きだ。特集記事の中には小学5、6年生が自分で取材して書いた記事もあって、上の子どもはこれを気に入って読んでいます。

**26** この「子ども新聞」はどんな新聞か。

- 1 学習記事以外のニュースと特集には、子どもに関することだけが取り上げられている新聞である。
- 2 この新聞は、ニュースのほかに特集や学習記事があって、特集には子どもが書いた記事もある。
- 3 この新聞は、表現が子ども向けにやさしいだけで、普通の「ABC新聞」と内容は変わらない。
- 4 ニュースと特集は小学5、6年生向けに、学習記事は小学1年生向けに書かれている新聞である。

(4)

最近、海外の<sup>まず</sup>貧しい国でソーシャルビジネスを行う日本企業が増えている。仕事がない、生活のためのお金がない、十分な食べ物もない、などの問題を持つ国の人たちを、ビジネスを通じて助けようとするものだ。例えば、服やかばんの作り方を教えて現地<sup>げんち</sup>(※1)の工場で作ってもらい、給料を払う。現地<sup>げんち</sup>の人たちは、働いたお金で豊かな生活ができるようになるという仕組み<sup>しくみ</sup>(※2)だ。国際社会で企業が生き残るためには、社会に<sup>こうけん</sup>貢献することが必要になっている。

(※1) 現地<sup>げんち</sup>：その計画が行われる場所

(※2) 仕組み<sup>しくみ</sup>：計画

**27** 「ソーシャルビジネス」とは、どんなことだと言っているか。

- 1 貧しい国の人に仕事を教えて、そのお金で豊かな生活をしてもらうこと
- 2 貧しい国の人たちがほしくなるような服やかばんの作り方を教えること
- 3 貧しい国の人を買える安い商品を作って、十分な生活をしてもらうこと
- 4 貧しい国の人で豊かな生活ができるように、服やかばんを作ってあげること